

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業主体の熊野町において、評価を実施している。	令和6年2月
	公表の方法
	熊野町ホームページで公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・避難路の整備により、大原ハイツ住民が最寄りの避難所（整備前：熊野第四小学校体育館、整備後：熊野町民体育館）に迅速かつ安全な避難が可能となった ・東部地域の一部避難所について、土砂災害警戒区域の指定により開設が困難となっていたが、新たな防災拠点施設の整備により、避難所の開設率が100%となった ・避難誘導看板の設置などにより、避難ルートの理解が容易となり、町内の小学校において、防災安全教育を推進することができた
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
本計画に基づく防災拠点や避難路の整備により、計画の成果目標（定量的指標）を概ね達成することができた。 令和4年度から新たに策定した整備計画「熊野町における災害に強いまちづくり（防災・安全）第2期」に基づき、避難者の迅速かつ安全な避難に寄与する避難路整備とともに、安心・安全で快適に暮らすための防災・減災まちづくりを推進する。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	9分	
	最 終 実績値	9分	
2			
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
3			
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	99%	